

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	<p>○役割、楽しみごとの支援 入居者様個々の習慣や、生活歴を本人様・家族様等から情報を頂き、それらを活かした役割等を職員側から入居者様へ提案する形で、入居者様の意思を尊重し入居後も継続して頂けるよう支援し、個々の果たす役割が、個々人の喜びや、張合い、生きがいへと繋がるように取り組んでいる。</p> <p>また、買い物、外出、出前、外食、ホーム内レクリエーション(行事含)等においても、希望を反映出来る様に取り組んでいるが、全利用者様に平等になると不十分であり課題が残る。</p>	<p>・全利用者様への個人別の「役割提供」「楽しみごと」の提供</p>	<p>・職員で意見交換し全利用者様に各々のADLや認知症の進行状態に応じた「役割」や「楽しみごと」を掲げ、達成できるように支援実践していく。</p> <p>・ADLが重度の方や、認知症の周辺症状への対応等で、同行職員の人数を増やす等の対応が必要な方の日常的な外出機会を確保、増やしていく為に職員間で具体的な案(例:シフトごとに日にちや曜日を定める等)を出し合い実践していく。</p> <p>・レク専門職員とも意見交換しながら、全利用者様へ個別レクや役割を設定し、日々の支援の中で実践していく。</p>	1ヶ月～6ヶ月
2	1と38	<p>○理念の共有と実践 ○日々のその人らしい暮らし 入居者様の個々の状態、ニーズ等を把握した上で、希望に添うよう努め、居室で過ごされたり、フロアで他者様と過ごされたり、それぞれ個々人のペースを尊重し、生活リズムや安全面にも配慮を行いながら、個々人の思いに寄り添えるように支援しているが、全利用者様個々人によって、見守りや付き添い等必要な支援が違い、様々な環境下で常に全利用者様の思いや「そのひとらしい暮らし」が平等に優先できているかという、不十分なきもある。すべての職員が、全利用者様個々人の「その人らしい暮らし」を常に最優先に支援できているかという課題が残る。</p>	<p>・全利用者様個々人の「その人らしい暮らし」の提供</p>	<p>・共同生活の中で、すべての利用者様へ「その人らしい暮らし」を提供できるよう、全利用者様個々人の思いに寄り添い、全利用者様すべての「その人らしい暮らし」の実践に向けチームで声を掛け合い、お互いに助け合いながら協力できる環境づくりに努め、職員個々のスキルアップはもとよりチーム力の向上に取り組んでいく。</p> <p>・全職員がその時々常に「その人らしい暮らし」を優先した支援を意識できるように、カンファレンス等の定期的な機会だけではなく、日常的にチームでお互いに利用者様や職員間の関わり方を確認しあいながら、意見交換や情報の共有等、多角的な視野を持ち、様々な方向から常に考え実践する意識づけができる機会を作っていく事で、全職員と共有している法人理念にも含まれる「その人らしい暮らし」を全利用者様に体現して頂ける様取り組んでいく。</p> <p>・ユニット毎の目標設定時に目標の一つに法人理念でもある「その人らしい暮らし」の実践へ向けた目標(例:利用者様と関わる時間を増やそう。/コミュニケーション強化月間。等)を掲げて取り組んでいく。</p> <p>・ホーム内の全体会議やカンファレンス等をとし、すべての利用者様個々人への「取り組み」を職員間で経過や取り組みを共有し、課題解決へ向けて幅広く意見を拾い上げ、全ての方が日常的「その人らしい暮らし」が達成できるよう一歩ずつでも前進できるように取り組んでいきたい。</p>	6ヶ月～12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。